

## 終業式 校長講話

令和7年12月25日

みなさんおはようございます。今日は終業式です。まず、この学期、毎日よくがんばりましたね。

今日は、体操のオリンピック選手だった内村航平選手のお話をします。内村選手は、世界一といわれた選手ですが、こんなことを言っています。

「大切なのは、金メダルよりも、そこにたどりつくまでの毎日の練習です。」

内村選手は、試合で成功するために、いきなり難しい技をするのではありません。転ばないように、けがをしないように、基本の動きを何百回、何千回もくり返し練習したそうです。うまくいかない日も、失敗する日もありました。

でも内村選手は、「今日は昨日より少しよくなかったかな」と考えながら、毎日の努力を大切にしてきました。みんなの学校生活も同じです。

テストでよい点をとることや試合で勝つこと、発表をうまくやることは、大切ですが、もっと大切なことは、

- ・毎日、あいさつをすること
- ・あきらめずに学習に取り組むこと
- ・友だちにやさしくすること

そうした目には見えにくい毎日の積み重ねです。

この学期をふり返ってみてください。

「前より字がていねいに書けるようになった」

「苦手な逆上がりにもチャレンジして、できるようになった」

「友だちと協力して合唱や合奏をすることができた」

それはみなさんが、結果だけでなく、過程を大切にしてきた証拠です。

次の学期も、すぐにうまくいかなくても大丈夫です。

一歩一歩、昨日の自分より少し成長することを大切にしていきましょう。

本日通知表が渡されます。担任の先生は、皆さんのがんばったところを見てくださいました。2学期に頑張ったことを振り返ってみましょう。そして、キャリアパスポートに書いてください。振り返ることは、大切なことです。

次に、冬休みについてです。

冬休みはぜひ、冬休みにしかできないことをぜひやってみてください。

どんなことでもいいのです。学校生活の中ではなかなか経験できないことなので、1つ決めてやってみましょう。

そして、お休みの間に事故や怪我に遭わないように気をつけてください。そして、いのちを大切に、大切にしてください。

3学期の始業式に元気なみなさんに会えることを楽しみにしています。